

★行財政改革の推進

実施計画

市民とともに進める市政の実現

- ・ 「日田活力創造市民会議」、「新水郷日田戦略会議」 など

背景及び課題（日田市からの回答）

少子高齢化が進み、成熟化社会になると言われている中で、行政は量ではなく、質が求められています。市民の期待にこたえ、質の行政を行っていくためには、市民の行政の参加、理解がさらに大切になります。

進捗状況（日田市からの回答）

- ・ 「日田活力創造市民会議」、「新水郷日田戦略会議」 など 【達成状況：達成に向け検討中】

【日田活力創造市民会議】

市民と行政が一体となった市政の実現、第5次日田市総合計画の進捗状況の検証や評価などを行うため、日田市民活力創造市民会議を設置します。この市民会議は、各分野において専門性を持った方々を現在選出しており、本年12月に第1回会議を開催する予定です。

【水郷ひたづくり戦略会議】

水郷ひたを全国に発信するために、環境面(川づくり)、観光面等を新たな視点で取り組み、まちづくりを考えることを目的に、平成20年10月に「水郷ひたづくり戦略会議」を立上げる予定です。この戦略会議は、学識経験者や下流域関係者の仕掛け人などの方々を人選中です。

市長自己評価コメント

市の行政サービスは法令に基づくもの、市の判断によるものなどがありますが、より良いサービスを提供するためには、サービスの受け手となります市民の立場で考えていくことが欠かせません。また、市民の方が持つ知恵を生かしていくことも大切であり、新たに市民会議の設置に向け、取り組んでいます。

★市民の評価	
評価観点	
<p>1、市民との協働の推進</p> <p>「日田活力創造市民会議」「新水郷ひた戦略会議」（19年～）により多くの市民が参加し意見交換が行われ、市政への参画の場になっているか。</p>	
評価手法（評価主体となった市民、団体、組織なども記入）	
市役所へのヒアリング（総務課、企画課、新水郷日田づくり課）	
コメント	
<p>市民との協働の推進が目的で、日田活力創造市民会議は、12月頃から会議を行なう予定となっています。これまでの市民会議では、各団体の代表の方などが集まり会議が行われており、幅広い世代の意見が集約できなかったように思います。この日田活力創造市民会議では若者中心のメンバー構成となる予定で、若い世代の提案や意見を吸収して、翌年度の予算編成などに活かそうとする予定です。ホームページや市報やパブリックコメントで幅広く市民からの意見を吸収できるようにする必要があると思います。新水郷ひた戦略会議は、1つ目に水量の増加、2つ目に水質の浄化、3つ目に下流域と交流の3つを施策としてNPO団体と一体となり積極的に取り組んでいます。今年の12月4日に「水郷ひたの清流復活をめざして」と題して、「水量増加運動」「川の水質改善」「市民による省エネ・環境対策」の決起大会が行われます。市内の80団体が賛同しており、そのバックアップや調整役として新水郷日田づくり課がいっしょに取り組んでいる事は評価できます。</p>	
市民の採点	
形式と妥当性の評価	21/30
実行性の評価	29/50
効果の評価	* / *
合計点	50/100(80)